

## 1 中期学校経営方針

### (1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
世界を見つめ、共に生きる中で、自らの生き方を創り出す力を育てます。 に 人間愛豊かな心をはぐくみます。 し 自主・自立の力を高めます。 か 考える力を伸ばします。 な 仲間づくりや地域社会とのかかわりを大切にします。	「に」:自己や他者を理解し、伝え合う力(人間愛) 「し」:自らの生き方を創り出す力(自主・自立) 「か」:国際社会で生きていく力(考える力) 「な」:共に生きる仲間とかかわる力(なかま・まち)

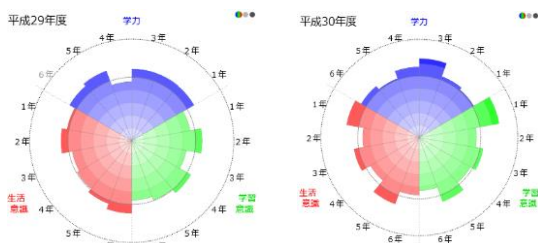
### (2) 中期取組目標

中期取組目標
「施設一体型義務教育学校における創造的な教育活動の実践・充実」～「きめ細かな学び」と「豊かな成長」目指して～ ・施設一体型義務教育学校としての教育課程の編成と教職員の連携・協働による教育実践を行います。 ・地域や国際交流、外国語活動・英語教育の推進、SDG s(持続可能な開発目標)等特色ある教育活動に取り組みます。 ・児童生徒の自己肯定感を高め、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指して児童生徒の言語活動の充実に努めます。 ・異年齢集団での教育活動全般を生かした思いやりの心の醸成、健やかでたくましい体の育成を図ります。

### (3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
<b>確かな学力(学習指導)</b> 担当 学習部	①新学習指導要領に則した9年間のカリキュラム作りを行うと共に、言語活動(伝え合う力の育成)を意識した指導実践を行っていく。②スタートカリキュラム、教科担任制、乗り入れ授業等の指導工夫を図り、丁寧できめ細かな指導を図っていく。③ICTを活用した授業実践を行う。

## 2 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握



### (1) 学力の概要と要因の分析

全児童平均で見ると国語、算数、理科、社会の4教科の学力は市平均を上回っている。1年生の学習意識が高く、幼稚園・保育園との連携やスタートカリキュラムを充実させた成果が伺える。学年により、学力層の構造に違いがあった。それぞれの学年の特色を把握し、基礎基本の充実を着実にしていく学年や学力差を解消するためにD層への個別の支援とA層への対応が必要となる学年など学年単位で指導の充実を図る必要がある。

### (2) 教科学習の状況

- 国語科:概ね、どの学年も多くの領域で市の平均よりやや高い学力であると言える。特に「読む能力」は全ての学年で高いことが分かった。一方で国語科への学習意識が市の平均より低い学年が多かった。現状通りの基礎基本の充実ともに、児童自身が達成感を感じ、自信を高められるような指導が必要である。
- 算数科:基礎基本・活用ともに、どの学年でも市の平均よりやや高めの学力である。「算数の勉強が好き」、「算数の勉強は大切だ」と答える児童の割合も多い。一方で学力の低い児童は苦手意識も高い傾向があり、様々な児童への支援が課題である。
- 社会科:どの領域でも市の平均学力を超えている箇所が多い。その一方で、高学年では『技能』の領域に苦手意識が強い傾向が見られる。今後の授業では、資料の読み取りに際して、その資料が何を意図しているのか・何を比較しているのかを明確にしなが、どのように読み取ったらよいかを指導していく必要がある。
- 理科:全児童の学力が2年連続で高まっている。特に「知識や理解」や「思考・表現」に関する領域については、多くの学年が市の平均より高い。また、前年度と比べ理科への意欲も高まっている。引き続き実験や観察の場面を大切にすることを通して、技能を高めていく必要がある。

### (3) 経年変化の状況と要因の分析(学習・生活意識調査も含めて分析)

学校全体として見ると、国語、算数、理科、社会、音楽で学習意識が市の平均値より高く、特に理科では前年度に比べ大きな向上が見られた。引き続き基礎・基本の確実な定着を図り、学習意欲を高めるための授業改善を続けて行くことが望まれる。さらにその他の技能教科に対する興味・関心を高めていくことも課題である。本校は、義務教育学校として3年目を迎え、「国際社会で活躍できる力を身につけた子ども」の育成をめざしている。自分で考え、実践できる力を育むためにこの研究に引き続き取り組んでいきたい。生活意識については、「学校図書館に行くことが好きですか」の項目がさらに向上しており、図書館教育が充実してきていることがわかる。一方で、「外国人の先生や友達と英語でのコミュニケーションをとることは楽しいですか。」については、今年度もあまり高くない結果が出ている。「外国人の先生が話していることはどのくらい分かりますか。」については向上が見られたことから、今年度も引き続き学級・学年を通して、様々な人と関わる楽しさや学校で生活する上での安心感を意識して育てていく必要がある。

### 3 平成31年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆言葉による伝え合い 伝え合い</li> <li>◆物事を大まかにとらえる力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や幼稚園保育園との交流などを通して人とつながる場面を計画的に位置づける。</li> <li>・子どもの気づきや思いを大切に捉えて支援することで課題に向かう意欲を育む。</li> </ul>	
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆基本的な生活習慣をつくる態度</li> <li>◆友達を大切にす る気持ち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動を通して、さまざまな人や物との関わりの中で自分の思いや考えをもつことができる場面を設定する。</li> <li>・豊かな体験活動を設定し、自分の言葉で相手に伝えようとする意欲を高める。</li> </ul>	
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆相手の気持ちを 考える力</li> <li>◆自分の考えを伝 える力</li> <li>◆意思決定したこ とに粘り強く取 り組む力</li> <li>◆自分の成長に気 付く力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数指導を効果的に使い、児童一人ひとりの表現する力を伸ばし、相手の気持ちを考える場を設ける。</li> <li>・総合的な学習の時間や、パワスポなどの行事の時間を効果的に使い、児童の意欲を尊重しつつ、物事を計画的に役割分担をしながら、最後まで粘り強く取り組む姿勢を育む。</li> </ul>	
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自分の思いや考 えを言葉で伝え る力</li> <li>◆多面的な見方で 物事をとらえ、自 分の考えを深め る力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な文章を読んだり、書いたりする中で語彙を豊かにし、自分の考えを相手に伝える活動を通して学びを深める。</li> <li>・自分の成長に気付き、自己肯定感を高める。</li> <li>・何事にも意欲的に取り組み、意思決定したことに粘り強く取り組むことができるようにする。</li> </ul>	
5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自分の思いや考 えを言葉で伝え る力</li> <li>◆多面的な見方で 物事をとらえ、自 分の考えを深め る力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いや考えを、すなおに表現できるように、ペアや少人数などの学習形態を工夫する。</li> <li>・各教科で相手に伝わりやすい表現の仕方を学び、目的に応じた使い分けをできるようにする。</li> </ul>	
6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆意思決定したこ とに粘り強く取 り組む力</li> <li>◆自分の考えを伝 える力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じて適切に表現し、伝えることができるようにする。</li> <li>・話す、書く活動を意図的に設け、自分の考えを表現する場を増やす。</li> </ul>	
個別 支援 学級	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆意思決定したこ とに粘り強く取 り組む力</li> <li>◆自分の考えを伝 える力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己選択・自己決定する機会を設けることによって、思考・判断・表現する力を高めると共に、主体性と意欲をもって取り組めるようにする。</li> <li>・適切な教材や指導場面を工夫し、必要感をもたせることで、思いや考えを伝えたいという意欲を高める。</li> </ul>	